

2025年版高等学校男子適用規則（案）

※2025年版高等学校男子適用規則は、全国高体連体操専門部委員総会（2025年2月）にて確定いたします。
2025年3月の全国高等学校体操競技選抜大会にて適用いたします。

（2025年改訂版）令和7年2月11日
全国高等学校体育連盟体操部
日本体操協会審判委員会男子体操競技審判本部

次に示すもの以外は、2025年版採点規則（日本体操協会発行）を適用する。

1, 技の認定と難度の設定について

(1) 下記に示す技は、2025年版採点規則とは異なる難度の認定および設定をおこなう。ここに示した以外の振動から倒立位になる技は採点規則通りである。

つり輪・屈腕ほん転逆上がり倒立（屈腕後方車輪倒立）：C難度（グループⅠ）

・屈腕後ろ振り上がり倒立（屈腕前方車輪倒立）：C難度（グループⅠ）

※屈腕の減点およびその他の減点、伸腕の捌きと同一枠

(2) 下記の終末技はA難度（グループⅣ）とする。

つり輪，平行棒，鉄棒の前方・後方かかえ込み宙返り下り

2, 禁止技について

難度表に記されているジュニアルールにおける禁止技を示す●印は適用しない。

3, ND(ニュートラルディダクション)について

ゆか：2回宙返り技がない場合、0.3のNDとする。

4, 加点について

E 難度以上の力静止技(グループⅡ及びⅢ)に対して、1技につき0.1の加点をDスコアに行う。

※ただし、大欠点を伴う実施は不認定となり、加点の対象としない。

5, 競技前各種目のワンタッチアップについて、次の通りとする。

(1) 30秒アップ ゆか、あん馬、つり輪、鉄棒

(2) 50秒アップ 平行棒

(3) 2本アップ 跳馬

6, 補足

つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒において、1名の補助者をつけることができる。